

田中康夫の だから、言わんこつちやない！

出張版

黒船軍団の利権「囲い込みカジノ」は巨大温泉ホテルと同じオワノコンだ！ 公金で海外視察のY先生議員と真逆な自腹主義に基づき、井川意高氏とは異なる視点で会議を看破！

「体温の感じられる社会」という原稿を「月刊VERDAD」9月号に書きました。既に「サンデー毎日」8月11日号でもデータを踏まえて詳述したように、日本経済新聞の「主要商品・サービスシェアの74品目の世界市場調査」でエレクトロニクス分野13品目の上位5社に日本企業は皆無。5つに分類されている医薬品も皆無。化粧品・腕時計・ビール・洗濯機・太陽光パネル等も皆無。有機ELパネルも大型液晶パネルも上位5社を韓国・中国・台湾の企業が独占です。日本企業が上位5社独占したの

は、1年間に22%も市場規模が縮小したデジタルカメラとA3レーザー複写機・複合機の2品目のみ。斯くも日本経済は衝撃的な空洞状態なのに、口先だけの「ガバナンス」と「コンプライアンス」で逃げ切る吉本興業を始めとして、凡そ組織の体を成していない、経団連加盟企業が胸を張るメルトダウンどころかメルトスルーな日本。こうした中、横浜港運協会の藤木幸夫会長に象徴される「自分で考え語り動く」「地頭」を持った方々の警句に耳を傾けよ、と寄稿しました。

反対に「体温の感じられない社会」といっては、1979年にマーガレット・サッチャーが「社会なんものは存在しない。自分で自分の面倒を見るのが国民の義務だ」と「自己責任論」を掲げて首相に就任したのが始まりです。今や英國の保守党員はドナルド・特朗普よりも三百代言なボリス・ジョンソン選び、米国を真ん中に大西洋、太平洋を挟んで米英日が21世紀の「3国同盟」を締結する機運。こうした中で「カジノは街を滅ぼす」と1時間半も会見した御年89歳にして矍鑠たる藤木さんはマハティール・ビン・ムハマドのような人だよ。横浜市が計画するIRは、宿泊も食事も全てカジノの建物内で独り占めする令和の「囲い込み運動」だと見抜いたんですね。

その彼が提唱する見本市展示場は単なるハコモノではない。死者2万5千人を横浜でも記録した関東大震災のような大災害時には避難所になる。平時においても、その事も全てカジノの建物内で独り占めする令和の「囲い込み運動」だと見抜いたんですね。

外の中華街でご飯を食べる。近隣のホテルに泊まって会議や商談を行う。ビジネスとして訪れるパパやママだけでなく、その子供や祖父母もファミリー・デステイネーションとして楽しめるのが本来のIRⅡインテグレーテッド・リゾートの筈。しかも見本市会場は展示の設営や撤収の人員、人や物の運搬と雇用の裾野が広い。三方良しで、お金が回るじゃないかと。

実は日本で一番大きな東京ビックサイトでも10万m²に満たず、その規模は世界77位です。欧米、中国、韓国の足元にも及ばない。横浜港運協会の山下ふ頭でのプランは25万m²規模で世界トップ10に入る。しかも世界で唯一、船舶が横付け可能な保税地域。通関せずに展示可能だ。このアドヴァンテージを活かさない手はないと。

この40年間の経済的新自由主義とやらはシャンパン・ピラミッドのトリクルダウンを目指すとドナルド・リーガンもマーガレット・サツチャードも日本の政治家も述べて

いたけど、一向に零は落ちてこない。ピラミッドの頂点の連中が酔っぱらつてゐるだけ。そしてカジノの実施主体は誰かといえば「黒船軍団」だ。日本の会社も名前を連ねたところで、早い話が売上の8割方はアメリカやシンガポール、マカオ、香港が本社の「黒船軍団」に持つて行かれちゃう。そのバキューム現象は、ダム建設と似てる。ハツ場ダムに象徴される総事業費の7割を国が、3割を地元自治体が負担する巨大ダム事業は8割の金額が中央のゼネコンに流れていく。孫請け・ひ孫請けを含めて地元には2割だから1割も持ち出し。しかもカジノの場合は日本国内に落ちずに国外にミツゲ君外交する話だからね。

知らない仲じやない大王製紙創業家三代目の井川意高さんも自身の体験を踏まえて「日本のIR法」カジノ法は何も知らない童貞と処女がAVの脚本を書いてるレヴエルだから（百戦錬磨な海外のカジノ業者にとって）赤児の手を捻るようなものだ」

店舗もある。ギャンブル依存症をパヨの皆さんに心配する一方、エセ保守なウヨの皆さんはパチンコを廃止してカジノの時代だと息巻いてるけど、その彼らが「大好き」な韓国はパチンコを全廃して国民向けカジノを江原に設けたら深刻な社会問題だよ。そもそも「やつてる感」内閣はカジノを全国3箇所ボッキリで誘致合戦させてるのだから、それでパチンコ全廃したら全国各地で暴動になるよ。

内閣官房副長官を7人の首相の下で務めた旧自治省出身の石原信雄さんは市町村税課長の経験を踏まえて、全国1万店舗のパチンコパーラーの収益を全国の自治体に納付する形を考えるべきだと日経の「私の履歴書」で述べていたけど卓見だと思うね。それは企業の各地域での活動量に応じて課税する外形標準課税の発想。法人税は国に、法人事業税は本社登記地に納めるから、工場を誘致したって固定資産税しか入らないのが日本の税制。

国が召し上げた法人税の中から地方交付

さんが心配する一方、エセ保守なウヨの皆さんに心配する一方、エセ保守なウヨの皆さんはパチンコを廃止してカジノの時代だと息巻いてるけど、その彼らが「大好き」な韓国はパチンコを全廃して国民向けカジノを江原に設けたら深刻な社会問題だよ。そもそも「やつてる感」内閣はカジノを全国3箇所ボッキリで誘致合戦させてるのだから、それでパチンコ全廃したら全国各地で暴動になるよ。

内閣官房副長官を7人の首相の下で務めた旧自治省出身の石原信雄さんは市町村税課長の経験を踏まえて、全国1万店舗のパチンコパーラーの収益を全国の自治体に納付する形を考えるべきだと日経の「私の履歴書」で述べていたけど卓見だと思うね。それは企業の各地域での活動量に応じて課税する外形標準課税の発想。法人税は国に、法人事業税は本社登記地に納めるから、工場を誘致したって固定資産税しか入らないのが日本の税制。

国が召し上げた法人税の中から地方交付

税として「愛い自治体」に割り振る「中央集権」から真っ当な「地域主権」にするのが外形標準課税。石原プランは鋭いんだよ。永田町のワンワンをしながらナニワの辺りで「身を切る改革」と拳を擧げてる香ばしい方々こそ気付くべきなのにね。

横浜は人口が減少していくからカジノを中心としたIRで収益アップさせると女性市長が会見したけど、「超少子・超高齢社会」ニッポンは全ての自治体が直面してるの。白紙から推進に大転換した会見でメデイアの皆さんに詰問されて、市長室に戻った瞬間に資料が宙を舞う映像が「報道特集」で流れてツイッターで拡散されてるけど、僕は思ったね。不透明な磨り硝子越しでなしに、透明なガラス張り執務室に改造しておけば、自制心も働いたのになあと。「異次元の薬薬」でなく、持続可能な経済効果を生み出す具体的なプランを発表した藤木さんも微苦笑してるとと思う。港の見える丘公園を「カジノの見える丘公園」にしたら、ブルー・ライト・ヨコハマがマカオの

マカオだって一時期は「賄賂社会」として名高い中国の高官を経営者が「夜總會」とセツトで「接待」する場所として活況を呈したのは周知の事実。ディーラーと呼ばれるスタッフと示し合わせて、雇つた「ブロ」が途中から敢えて負けて「合法的」に資金洗浄する仕組み。ところが、習近平がマカオだって一時期は「賄賂社会」として名高い中国の高官を経営者が「夜總會」とセツトで「接待」する場所として活況を呈したのは周知の事実。ディーラーと呼ばれるスタッフと示し合わせて、雇つた「ブロ」が途中から敢えて負けて「合法的」に資金洗浄する仕組み。ところが、習近平が自分の周囲以外には腐敗撲滅を徹底したか金ぴかネオンサインに一変しちゃう。

ら閑古鳥。

「開発独裁国家」としてリー・クwanユーが「明るい北朝鮮」を築き上げたシンガポールで、ドナルド・トランプちゃんの盟友シェルドン・アデルソンが経営するマリナ・ベイ・サンズだって、スロットマシンに興ずる観光客のみで「採算」が取れる訳もないでしょ。

19世紀半ばに一攫千金を西海岸に求めたゴールドラッシュの中継点としてネバダ砂漠に誕生したラスベガスは、1973年の為替レートでハマコ一が5億円を擦つた頃と違つて収益構造がカジノ40%、シヨー&イヴェント30%、飲食＆ショッピング15%、宿泊15%と変貌を遂げたけど、それは世界最大の全米家電見本市 CESやIBMだのアップルだの新製品発表会を地道に誘致したからだよ。

マネーロンダリングのカジノに対しても、サロンとしてのカジノもヨーロッパには多い。例えばヴェネチアの運河沿いで163

8年から営まれる世界最古のカジノにはジ

ヤコモ・カサノヴァも通い詰めたらしくけど、歴史の年輪を感じさせる落ち着いた併まいだし、ドイツの黒い森に隣接する温泉保養地のバー・デン・バーデンにはマーレ・ディートリッヒが「世界で最も美しい」と褒め称えたカジノがあつて、そりや霁閑気が全然違う。

自慢じゃないけど自腹で10ヶ国のカジノに出掛けてるヤツシーは、税金を使ってキンキラキンなマカオやシンガポールを観察してカジノ通だと思い込んでる首長や議員とは違うのよ。まあ、ルーレットだのバカラはルールも知らないし怖いから、ギャラリーとして眺めただけですけどね。

そうそう、8月末に知事選が行われた埼玉在住の若者からもDMを貰つたよ。深谷葱と草加煎餅だけが自慢のダサイタマ県民としては、カジノの前に「横浜ブランド」の再構築が先じやね、とね。確かに同じ港町でも神戸はケーキやパンを買い求めに行

くイメージを確立しているものね。

それに宿泊施設が少なくたつて、小江戸・川越には団塊世代だけでなく若者も来てるしね。カジノは「出会い系運動」だと冒頭で述べたけど、それは多くの温泉地が迷路のような巨大旅館の中にカラオケも卓球ルームも夜食のラーメンも全部用意したものだから逆に「ぞぞろ歩き」しながらマートボールや射的を楽しんで、焼きトウモロコシを買い求める風情がなくなつたのと似てるね。

大阪からJRで4時間も掛かるのに欧米からも旅行者が訪れる場所となつた城崎温泉は逆に部屋数が10～15と団体客を取れない取らない温泉地だからこそ、共存共榮の「三方良し」な温泉地として復権したんだよね。カジノありきのオツムな皆さんは、地総債＝地域総合整備事業債で立派な文化施設を造れば自慢できると思い込んでた20世紀末のハコモノ行政から脱却出来てない